

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	AED設置事業						掲載ページ		
							138		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局・子ども家庭局
		0	千円	12,980	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	市民センター室 子ども家庭政策課・子育て支援課・保育課・青少年課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	安全で安心な施設環境を整備するため、児童福祉施設や公立保育所、青少年施設、市民センターにAED(自動体外式除細動器)を設置し、正しい利用方法の周知に努めます。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	利用方法についての研修、定期的な機能チェックの実施を行います。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	AEDの設置施設(児童福祉施設、公立保育所、青少年施設)		96	施設	96	施設	大変順調
	安全で安心な施設環境を整備するためAEDを設置します。 (最終目標と最終年度)						
	AEDの設置施設(市民センター)		131	館	132	館	大変順調
安全で安心な施設環境を整備するためAEDを設置します。 (最終目標と最終年度)市民センター全館への設置							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	新設された市民サブセンター1館に、AEDを設置したほか、利用方法の研修、日常点検及び定期点検を実施しました。AEDの設置は、施設利用の安全性の観点、安全・安心なまちづくりの推進からも有効性は高いと思われます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	機器購入の際は、同一機種を導入するなど、機器の管理や消耗品の交換などを効率的に運用するよう、努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今後も、利用方法の研修や、定期的な機能チェック及び消耗品の交換を実施していきます。また、新設される市民センターについて、逐次設置します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	モラル・マナーアップの推進						掲載ページ		
							138		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		49,449	千円	50,506	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	モラル・マナーアップ関連条例に基づき、人が多く集まる中心市街地など特に周囲に影響を及ぼす地域を「迷惑行為防止重点地区」を指定し、「路上喫煙」、「ごみのポイ捨て」、「飼い犬のふんの放置」、「落書き」の4つの迷惑行為に対して過料を適用することにより、迷惑行為を防止し、快適な生活環境の確保を図ります。 また、自主的に迷惑行為の防止に取り組む地域を支援することにより、地域活動の活性化を図ります。 迷惑行為防止基本計画に基づき、マナーアップ教育や市民啓発の推進などの各施策に取り組むことにより、全市的なモラル・				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	重点地区（小倉・黒崎地区）において、巡視活動を実施するとともに、条例や重点地区についての広報・啓発を行います。また、地域において迷惑行為防止に取り組む団体に支援を行います。基本計画に基づき、児童に対してマナーアップ教育等に取り組めます。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	モラル・マナーアップ関連条例に関する啓発・広報活動回数							
	迷惑行為の発生を防止するためには、重点地区における巡視・過料適用とともに、市民に向けての広報活動が必要です。このため、より多く目にしてもらえるよう、街頭における広報活動や市政広報物を利用した広報、新聞・テレビ・ラジオ、HPなどを通じた広報など、より周知効果の高い媒体を利用した広報活動に取り組みます。 （最終目標と最終年度）平成25年度 12回/年	75 回	24 回	55 回 229.2 %				
	迷惑行為防止活動実施地域数 市内のモラル・マナーアップを図り、全的に迷惑行為をなくしていくためには、重点地区における過料による規制だけでなく、地域住民が自主的に迷惑行為防止の取り組みを行うことが重要です。そのため、推進地区を含め、本市において防止活動に取り組む地域数を指標としました。 （最終目標と最終年度）平成25年度 延42地域	2 地域	延42 地域	延47 地域 111.9 %				
モラル・マナーアップ教育教材の配付								
	市内の小学6年生を対象としたマナーアップ教育教材を作成し、各小学校に配付することにより、マナーアップ教育を推進します。	-	9,300 部	9,300 部 100.0 %	やや遅れ 遅れ	順調		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	重点地区での巡視活動を継続して実施し、迷惑行為のない環境づくりを行っています。JR小倉駅前では音声装置等による周知・啓発を開始するなど、市民や市外からの来訪者に対して、新たな手法による広報を行うことができました。重点地区の広報活動の充実に取り組んだ結果、重点地区内における迷惑行為、特に路上喫煙者は大幅に減少し、市民のモラル・マナーの向上に高い効果が見られました。 また、市が啓発に必要な物品を支援する事業を実施したところ、目標を上回る申請があり、迷惑行為防止活動が市内全域で行われ、地域住民による自主
	「経済性」「効率性」の分析	条例違反者への指導・過料の徴収については、違反者の反発等によるトラブルが予想されます。これまでも巡視員に対する公務執行妨害事件へ発展することもあり、高度な対応能力、説明能力、法的知識が不可欠であることに加え、警察との連携をとる必要があることから、民間での対応は極めて困難であるため、市が警察OBを雇用し、実施しています。市において、重点地区における巡回指導、過料徴収及び広報活動を継続して実施していくことが不可欠と考えます。 広報活動については、低コストとなるように無料の広告媒体（市政テレビ、ラジオ

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
H24年度は、引き続き重点地区の巡回指導・過料徴収を行い、広報活動を継続して行うとともに、迷惑行為の防止に自主的に取り組む推進地区を含む地域住民による活動の活性化を図ります。また、「北九州市迷惑行為防止基本計画」に基づき、モラル・マナーアップ教育の充実や市民啓発の推進に取り組めます。条例や事業の周知を図るため、市の広報媒体の利用や音声放送の充実などにより、積極的に広報活動を行います。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	「スクール救命士」事業						掲載ページ
							138
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	消防局
		560 千円	767 千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	救急課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	全市民が応急手当ができる安全・安心なまちとなるよう、小学校、中学校、高校と発育段階に合わせた応急手当の講習を実施します。			活動実績 学校長会会長会で本事業の説明を行い、全校に対して本事業の紹介を直接何度も行った結果、平成24年度の実施希望校が増加しています。
活動計画	講習実施を希望する学校で講習を実施するとともに、未実施校に対し事業の有用性の説明し実施を促します。				
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】
	小学校の講習実施率				活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	最終的には市内全ての小学校での実施を目指します。 （最終目標と最終年度）平成27年度100%	10 %	25 %	24 %	
	中学校の講習実施率				大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
最終的には市内全ての中学校での実施を目指します。 （最終目標と最終年度）平成26年度100%	42 %	60 %	46 %		
				76.7 %	順調

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  各学校において、学習指導要領に含まれていない授業時間を確保することは難しく、本事業の推進にあっては、各学校長が裁量的に判断するため、一斉に普及するには至っていません。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  本事業は、可能な限りの短い時間、少ない人件費での実施を行っているため、現状より低いコストで実施することはできません。また、応急手当の普及啓発活動は国の通知により、市が行うことが義務付けられているので、民間活力導入はできません。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
希望校に対して講習を実施するとともに、未実施校に対して事業の有用性を説明し、実施を促します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	生活安全パトロール隊の支援(地域防犯対策事業)						掲載ページ
							138
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		27,558 千円	31,690 千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	犯罪被害の防止には、市民の防犯意識の高揚や自主的な防犯活動への取組みが重要です。本事業では、地域の自主防犯団体「生活安全パトロール隊」に対し人的・物的支援を行い、活動の活発化を図るとともに、市民防犯大会の開催や市民への防犯情報の提供などにより、市民が安全で安心して暮らすことのできる「安全・安心なまち北九州市」の実現を目指します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	安全で安心なまち実現するためには、市民による自主的な防犯活動の取組みが重要です。地域の自主防犯組織「生活安全パトロール隊」による防犯パトロールや登下校時の子どもの見守りなどの活動を促進します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】
	生活安全パトロール隊による年間パトロール実施回数		103 回	100 回以上	194 回	194.0 %	大変順調
	各校区の生活安全パトロール隊による、自主防犯実施の1年間の合計値を全校区(131校区)で割った、1校区当たりの平均実施回数です。 (最終目標と最終年度) 100回以上(平成26年度)						
	生活安全パトロール隊による年間パトロール参加人数		1,263 人	1,000 人	1,576 人	157.6 %	順調 やや遅れ 遅れ
各校区の生活安全パトロール隊による、自主防犯実施の1年間の合計値を全校区(131校区)で割った、1校区当たりの平均参加人数です。 (最終目標と最終年度) 1,000人(平成26年度)							

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  町内の防犯パトロールや子どもの登下校時の見守りを毎日(平日)実施する地域があるなど、平均して、1校区につき年間約194回、1576人の参加があり、活動計画を大きく上回りました。こうした地域の自主的な防犯活動は犯罪発生を抑制するとともに、地域住民の体感治安の向上につながります。
	「経済性」「効率性」「効果性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  生活安全パトロール隊の活動はすべてボランティアによるもので、この事業では活動に対する人的支援(指導員による助言等)と物的支援(腕章、帽子などの支給)を実施しています。支援物品については、毎年、品目や購入数量を見直すなど、効果的かつ効率的な支援を心掛けています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
地域住民の防犯活動を促進し、充実したものにするため、人的・物的支援の内容を随時検討し、効果的な支援を図ります。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	安全セミナーの開催						掲載ページ
							139
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		2,033 千円	2,462 千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	子ども達の犯罪被害の防止のため、市内の小中学生を対象に「体験型」のセミナーを開催し、子どもの危機回避能力の向上を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	繁華街での防犯パトロール等を全国的に展開しているNPO法人「日本ガーディアン・エンジェルズ」から講師を迎え、開催を希望する小中学校を対象に、安全セミナーを実施します。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	安全セミナーの年間実施回数		18 回	34 回	28 回	82.4 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	年間の実施回数を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 34回（平成26年度）							
							順調	順調
（最終目標と最終年度）						やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度は、前年度より、小学校8校増の22校7,110人、中学校2校増の6校1,870人が受講したほか保護者の参加もありました。子どもたちや教師から、「危険を察知し、近づかないこと」や「自分の身は自分で守る」などの防犯意識が芽生えたという声が多く寄せられ、大変好評を得ています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	業者選定手続きの専門性、競争性を確保するため、事業の実施委託契約についてはホームページで公示応募者を募ります。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
平成24年度は、開催を希望する小中学校を対象に、計34回のセミナーを実施する予定です。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	ガーディアン・エンジェルスセイフティ・センター運営支援事業						掲載ページ
							139
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		1,800 千円	1,800 千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	繁華街での防犯パトロール等を全国的に展開しているNPO法人「日本ガーディアン・エンジェルス」の活動を支援することにより、青少年の健全育成等を図ります。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	NPO法人「日本ガーディアン・エンジェルス」による青少年の悩みごと相談や自立支援等の拠点となっている小倉駅前の「セイフティ・センター」の運営を支援します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	青少年からの悩み相談、自立支援、街頭パトロールの実施				大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	繁華街での防犯パトロール等を全国的に展開している当該団体の特色を活かしたものと、上記活動を指標に掲げました。 （最終目標と最終年度）青少年の健全育成、街頭パトロールの実施（平成26年）	・青少年の健全育成 ・街頭パトロールの実施	・青少年の健全育成 ・街頭パトロールの実施	・青少年の健全育成 ・街頭パトロールの実施			順調
					やや遅れ	順調	
（最終目標と最終年度）				遅れ			

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	セイフティ・センターのスタッフが青少年の悩み相談、若者の自立支援、JR小倉駅周辺の街頭パトロールを積極的に実施しました。市民からもセイフティ・センターの活動は高く評価されています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	当該法人の事業の公共性の高さ、社会的貢献度や活動実績を勘案して、適正な補助金額を決定しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
セイフティ・センターは、青少年の悩み相談、若者の自立支援、まちの環境浄化活動の継続を基本としながら、若者の安全教育の場になることを目指しており、本市としても引き続き支援を継続していきます。

## 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

<b>事業名</b>	北九州市地域安全・安心リーダー養成講座の開催						掲載ページ
							139
<b>コスト</b>	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		513 千円	715 千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
<b>目的</b>	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	地域の自主防犯組織である「生活安全パトロール隊」の代表や指導的な立場の人を対象に、安全・安心に関する実践的な講座を開催し、地域防犯活動の更なるレベルアップと活性化を図ります。				<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。	
<b>活動計画</b>	地域防犯活動の更なるレベルアップと活性化を図るため、地域における防犯リーダーの養成講座を開催します。							
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> （数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		<b>前年度実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績（達成率）</b>		<b>【活動の状況】</b>	
	リーダー養成講座の実施回数		1 回	1 回	1 回	100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	地域防犯活動の更なるレベルアップと活性化を図るため、地域における防犯リーダーの養成講座を開催します。 （最終目標と最終年度） 1回（平成26年度）							
	講座の参加人数		44 人	50 人	53 人	106.0 %	順調 やや遅れ 遅れ	<b>大変順調</b>
救命講習など体験型の講座を効果的に実施するため、50人程度の参加を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度） 参加人数50人（平成26年度）								

【Check】評価(分析)			
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度は53名のパトロール隊員が参加し、平成17年度以降の延べ修了者数は380人となりました。修了者からは、地域防犯活動に活かせる講座として大変好評を得ています。
	<b>「経済性」 「効率性」</b> の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	会場は、使用料のかからない市の施設を活用するなど、低コストで、質の高い講座を開催できるよう努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
パトロール隊員の資質向上のため、実践的で、質の高い講座を開催する予定です。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	まちかど見守り運動推進事業						掲載ページ
							139
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		0 千円	157 千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	行政機関や地域住民、企業等が、通常業務や日常生活の中で地域の見守り活動を行い、犯罪の防止を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	市の公用車に「防犯パトロール」と表示したマグネットシートやステッカーを貼付し、市職員の外出時にあわせて「まちかど見守り活動」を実施します。同様に、本事業に賛同する市民や企業にも、日常生活で無理のない見守り活動をお願いします。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】		
	見守り活動への参加人数	15,700 人	15,000 人	15,800 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	（最終目標と最終年度） 15,000人（平成26年度）			105.3 %				
					順調			
	（最終目標と最終年度）				やや遅れ	順調		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	業務中や日常生活における地域の見守り、マグネットシートによる犯罪への抑止効果などが、地域で起こる犯罪発生の未然防止に役立っています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係者の協力のもと、経費はマグネットシートやステッカー等の物品費のみであり、低コストで事業を実施しています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今後も、通常業務や日常生活の中で無理なく地域を見守るという本事業の趣旨のもと、市民の安全を守る活動を継続していきます。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	落書き消去活動支援事業						掲載ページ		
							139		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		224	千円	250	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	「落書き」はまちの景観を損なうとともに、放置すれば犯罪の発生を誘発するおそれがあります。地域団体、企業、学校、NPO等に溶剤・用具等の提供を行い、落書き消去活動を支援することにより、地域住民等のモラル・マナーアップを図るとともに、安全で安心なまちづくりを行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	地域団体、企業、商店街、学校、NPO等に、落書き消しの溶剤や用具等の提供を行い、地域における落書き消去活動を支援します。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	活動の状況		
	落書き消去活動への参加人数		85 人	50 人	60 人		120.0 %	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	地域住民等が自主的に落書き消去活動に取り組むことにより、まちの景観の回復だけでなく、地域におけるモラル・マナーの向上につながるため、活動への参加人数を指標としました。 （最終目標と目標年度）平成25年度 延べ参加人数250人							大変順調
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	本年度は、大規模な落書きを消去するため、周辺地域の団体と連携して落書き消去イベントを開催したところ、地域住民や学生など多くの参加があり、目標とした人数を上回りました。市民自らが落書き消去活動を行うことで、その姿を見た他の住民等も含め、地域におけるモラル・マナーアップが図られたと考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	地域住民等による自主的な落書き消去活動に対する支援を行っているものであり、経済性、効率性は十分図られていると考えています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
落書きのない環境づくりのため事業を実施するとともに、さらに落書き消去に取り組む団体・参加者が増加するよう、広報活動に取り組みます。また、事業の認知度が上がるように、出前講演や地域団体の会合などを利用して積極的に広報活動を行うとともに、本事業について紹介している市民啓発用DVDの利用促進を図る中で、事業を周知します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	「安全・安心まっぷ」の作成						掲載ページ
							139
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	市民文化スポーツ局
		277 千円	800 千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	安全・安心課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	地域の街頭犯罪の発生状況や防犯対策を掲載した「安全・安心まっぷ」を区役所や市民センター等で広く市民に配布し、市民の防犯意識の醸成を図ります。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	市民に犯罪の発生状況や防犯対策等を知ってもらうため、「安全・安心まっぷ」を作成し、区役所や市民センターなどを通じて、市民に配布します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	安全・安心まっぷの発行部数	42,100 部	30,000 部	30,000 部	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	一人でも多くの市民の目に留まることが防犯意識の高まりに繋がると考え、発行部数を指標として掲げました。 （最終目標と最終年度）市ホームページ掲載、3万部発行（平成26年度）			100.0 %			
（最終目標と最終年度）							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	市民に犯罪の発生状況や防犯対策等の情報を提供するため、区役所や市民センター等を通じて配布しました。また、各区域版で作成し、犯罪発生件数は校区ごとに2ヵ年分併記して前年と比較できるようにするなど、分かりやすい紙面づくりに努めました。併せて、本市のホームページに掲載し、周知を図りました。市民からも、防犯意識を高めるために有効な情報として評価を得ています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	平成20年度まで、市政だよりとともに全戸配布していましたが、平成21年度以降は、市ホームページへの掲載をはじめ、市民センターや区役所等に配布するなど、効率的な事業実施に努めています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
市民の防犯意識を高めてもらうため、市民センターや区役所を中心に配布するとともに、本市ホームページに掲載し、犯罪の発生状況や防犯対策を周知します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	明るく安全なまちづくり街灯整備事業						掲載ページ		
							140		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	建設局
		100,000	千円	100,000	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	道路維持課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	「街をもっと明るく」という市民要望を受け、夜間の交通安全性の向上を目的に、道路照明灯と防犯灯の中間的な街路灯の整備を実施しています。また、「北九州グリーンフロンティア」の取り組みの一環として、平成23年度からLED灯を本格導入しています。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	市民の要望を受け実施						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	整備実施灯数		170 灯		390 灯	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	街路灯の設置は、市民からの要望がある場合で、要件に合致しているものについて実施しています。したがって、整備目標を設定する性質の事業ではありません。 （最終目標と最終年度）					大変順調	
					順調		進捗状況の検証を行う性質の事業ではありません
				やや遅れ			
				遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	進捗状況 街路灯の設置は、市民からの要望がある場合で、要件に合致しているものについて実施しています。したがって、整備目標（計画）を設定する性質の事業ではなく、当初計画に対する進捗状況の検証はできません。 有効性 交通安全の確保。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	LED灯を採用することで、維持管理費の削減を図りました。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
市民からの要望がある場合で、要件に合致しているものについては着実に実施していく予定です。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	消防“夢”コンサート事業						掲載ページ		
							140		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	消防局
		0	千円	0	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	人事企画課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	市内の小学校（特別支援学校含む）に出向き、音楽教育の一環として実施しているコンサートです。消防音楽隊による生演奏やカラーガード隊の統制された演技を通じて、本物の音楽の素晴らしさや多くの仲間と音楽を創造するチームワークの重要性を伝える等「心の教育」を実践しています。また、火災をはじめとする災害の注意喚起を行い、幼少期からの「防火・防災思想」の高揚及び普及を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	学校側の人事異動等を考慮し、新年度に募集通知を出すことで依頼校の増加を図ります。また、やむを得ない公演の中止に対し、振り替え公演等の救済措置を行います。平成23年度についても、年間50校を目標に本事業を実施します。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	年間開催学校数		60 校	50 校	42 校		大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	消防音楽隊の他の出演とのバランスから年間50校程度の実施を維持することが適切であり、公演内容を毎年変更する、募集時期をより効果的に変更するなどの工夫により依頼校の確保に努めます。  （最終目標と最終年度）平成26年度：50校程度				84.0 %			
							順調	順調
						やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度は、42校の依頼校全ての学校で公演を実施しました。学校の年間授業日数や授業年間計画により、その年度ごとの依頼校数にバラつきがあるが、平成23年度に演奏を実施した学校からは、過去行われた公演の中で最も良かったとの声もあり、小学校（特別支援学校含む）に限定したことによる内容の充実強化は図れたものと考えられます。本物の音楽に触れることで実践される「心の教育」に加え、防火・防災思想を学ぶことができる事業は他になく、上位施策実現のために十分な効果が得られていると考えます。実際、学校側からは
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	これ以上コストを削減する余地はなく、より高い効果を得るために演出に工夫を行っています。また、新しい楽曲・流行曲の演奏を常に心がけ実施しているため、常に新鮮な事業・演出であるものと考えられます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
<p>本事業は、施策の実現に対する有効性も高く、今後も目標達成に向けた努力をしていく必要があります。平成22年度から、学校の人事異動等を考慮し新年度募集を行ったところ、実施学校数が増加し高い効果が得られたため、平成24年度以降においても同様に継続して行います。</p> <p>また、今後においても、やむを得ず先方からの都合等による公演中止の申し出があった場合には、振り替え公演等の救済措置を図るよう努めていきます。</p> <p>平成24年度からは、本事業の成果を検証できるようなアンケートを実施していきます。</p> <p>また、依頼校が少ない</p>

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	「消防士さんといっしょ」事業						掲載ページ		
							140		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	消防局
		1,279	千円	1,530	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	予防課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	防火・防災のプロである消防職員が「ゲストティーチャー」として小学校に出向き、各小学校の協力を得て、社会科教育の一環として「消防のしごと」の授業を行うことにより、児童への防火・防災教育の充実を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画		授業はもちろんのこと、「スモークマシンを活用した煙体験」、「消火器(訓練用)の取扱い」、「119番通報訓練」、「空気呼吸器、消防用ホース等の資器材の取扱い」といった児童が実際に体験出来るような内容を多く取り入れ、消防局でしか出来ないような授業を展開していきます。 また、講師については様々な体験談を踏まえながら授業を実施しているため、全て消防職員が担当しています。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】	
	「消防士さんといっしょ」対象校の年間実施率							
	市内すべての小学校(ただし、特別支援学校及び複式学級等を除く)を対象とした年間実施率です。将来を担う子どもたちに「防火・防災」について認識をもたせることは、北九州市を「災害に強いまち」とするための基盤として重要なことであるため、実施率100%と設定しました。 対象校数:130校		100 %	100 %	100 %		大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	(最終目標と最終年度) 実施率100%を維持する。				100.0 %			
アンケートの回答結果								
実施学校にアンケート調査を実施した結果、児童の反応についての問いに「非常に良かった」「良かった」と回答の集計結果及び「今後もこの授業は継続したいか」との問いに、「希望したい」と回答の集計結果を100%と設定しました。 アンケート回答数:89校		100 %	100 %	100 %		順調	大変順調	
(最終目標と最終年度) 上記目標に対し100%を維持する。				100.0 %		やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	活動の状況は順調です。 上記活動指標(「消防士さんといっしょ」対象校の年間実施率、アンケートの回答結果)の目標に対し、どちらも100%達成することができました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業での使用資機材(スモークマシン等)については、各署2台という少ない数で計画的に使用し、経済的、効率的に実施できました。 また、講師については、本事業が消防職員の体験談を踏まえた授業内容を構成しているため、他の実施主体(委託等)は考えられません。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
子どもたちが「防火・防災」について認識を持ち、そのことを家庭・地域生活の中で実践していく力を育むことは、将来の北九州市を「災害に強いまち」にするためにも重要なことであると考えます。 よって、今後も積極的な取組みを進めていくことが必要です。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	児童見守り消防隊							掲載ページ	
								140	
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	消防局
		0	千円	0	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	警防課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	児童が登下校時に犯罪に巻き込まれないよう、教育委員会等各関係機関と連携し、地域における安全確保を図ります。 具体的には、児童の登下校時に声掛けを実施したり、業務出向時に通学路のパトロールを実施します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです		
活動計画	児童が登下校時に犯罪に巻き込まれないよう、通常業務に支障のない範囲で積極的に市内全小学校区で「児童見守りパトロール」を実施します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	市内全小学校区での「児童見守りパトロール」の実施件数		2,426 件	3,000 件	2,142 件		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック  大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
	児童が登下校時に犯罪に巻き込まれないよう、関係機関と連携し、安全確保を行っています。また、子ども総合センターへの通報については、救急事案の対応時に注視しています。 目標値については、年間登校日数約200日×登下校2回×7区に各区の実情を加味した数値としています。  （最終目標と最終年度）毎年度3,000件				71.4 %		
（最終目標と最終年度）							

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  消防隊の業務出向時等の通常勤務の中で実施する事業であり、当該事業のみに特化して実施するわけではないので、最大限の効果が挙げられているとはいいたいところがありますが、当事業により、地域住民との間に信頼関係が築かれつつあり、こういった地域に密着した地道な取り組みを継続することで防犯効果が上がっていくものと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  消防隊の業務出向時等の通常勤務の傍らで実施する事業であるため、コストを必要とせず効率性と考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
消防車両によるパトロールを実施することで、犯罪の抑止が期待できるため、今後も同様の内容について継続して実施します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	パパママ救急教室						掲載ページ		
							140		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	消防局
		4	千円	6	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	救急課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	少子化・核家族化が進む中、子どもの病気やケガへの対応などに不安を抱える子育て中の親は多いと考えられることから、子育てへの不安を少しでも軽くし、また、かけがえない小さな命を守るため、新米パパママを対象に、子どもに関する応急手当教室を開催します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	市内2箇所の施設で継続的に講習を実施します。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】	
	受講者数		265 人	180 人	255 人		大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	新米パパママを対象としており、受講者数を指標とします。 （最終目標と最終年度） 毎年度継続実施				141.7 %			
								大変順調
（最終目標と最終年度）								

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	目標を超える受講者があり、新米パパママのニーズに合った知識・技術を得る機会を提供できています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	短時間かつ少人数での実施ができ、人件費を除くコストはほとんどかかっていません。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
これまでの目標達成度から市民のニーズはありと考え、今後においても継続実施します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	J-DIG(中学生を対象とした災害図上訓練)						掲載ページ		
							141		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	子どもや若者の健やかな成長や自立を支える環境づくり	担当局	危機管理室
		522,421	千円	1,097,000	千円	施策名	安全・安心なまちづくり	担当課	危機管理課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	地域に居住する中学生に対してDIG(J-DIG)を実施し、若年層の防災教育の充実強化を推進するとともに、将来の防災リーダーの育成を図ります。 DIGとは・・・地域で大きな災害が発生した場合を想定し、地図への書込みを通して、参加者自身が地域の防災上の長所・短所を理解し、災害活動及び事前対策へのイメージを膨らますことが出来る住民参加型の災害図上訓練。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	23年度もJ-DIGを実施することで、若年層の防災教育の充実強化を推進するとともに、将来の防災リーダーの育成を図ります。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】
	J-DIGの実施回数		7回	10回	5回	50.0%	大変順調
	平成23年度は、全中学校に対して実施希望調査を行い、実施希望のあった中学校に対してDIGを実施しました。 (最終目標と最終年度)継続的なJ-DIGの実施						
	(最終目標と最終年度)						順調
						やや遅れ	
						遅れ	順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	実施希望校数は減少しましたが、その分きめ細かい指導ができて有効であったと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	J-DIGに対する生徒の反応や感想も良好であること、さらに、まちの危険箇所を知ることができる等、災害から身を守り、生き抜く力を育成する若年層の防災教育という観点から有効性は高いと考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
中学校長会等での事業紹介等、様々な機会を活用して実施校数の増加を目指します。